

そのときに備えて!

草津市防災備蓄倉庫

つぎ さいがい たいせつ いのち まも
~次の災害から大切な命を守るために~



玉川小学校



玉川中学校



ぼうさいびちくそうこ しょうがっこう ちゅうがっこう わいみっと
防災備蓄倉庫は、14小学校と6中学校、YMITアリーナ
および草津市コミュニティ防災センターに分散配置しています。

ぼうさいびちくそうこ なか
防災備蓄倉庫の中には、エンジンカッター、チェーンソー、
きゅうじょこうぐ じんめいきゅうじょしきざい はつでんき ひじょうよう
救助工具セットなどの人命救助資機材と、発電機、非常用
しょくりょう しょうめい もうふ かせつ ひなんしょうんえいしきざい
食料、照明、毛布、仮設トイレなどの避難所運営資機材を
びちく
備蓄しています。

ぼうさいびちくそうこ
防災備蓄倉庫の中身は？

左側



正面



右側



左手前



正面裏側



救助工具セット



チェーンソー



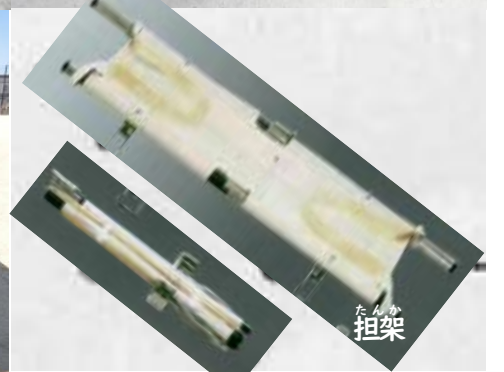
エンジンカッター



はつでんき
 発電機 1.6KW



仮設トイレ



たんが
 担架

ぼうさいびちくそうこ はいちじょうきょう 防災備蓄倉庫の配置状況

草津市は、地形的に東西に草津川、南北にJRびわこ線があることから、災害により、道路交通網等が遮断されることも想定されます。

そこで、広域避難所のうち、●の4小学校を前線基地として位置づけ、専属の職員（前線基地班員、市内在住88名を任命）の配置や食糧等の備蓄（防災倉庫40㎡）、耐震性飲料水兼用防火水槽●（60+、5箇所）の設置など地域防災の拠点として整備しています。

また、平成23年度に他の小学校●にも防災倉庫（13㎡）を整備し、サテライト基地として学（地）区の防災拠点としています。

さらに、平成30年度から3年間で、中学校●にも同様の防災倉庫（13㎡）を整備しています。

西消防署横にある●コミュニティ防災センターには、約150㎡の防災倉庫があり、防災備蓄の拠点となっています。

●立命館大学は、草津田上インターに近いため、外部からの支援物資の物流拠点に位置づけています。

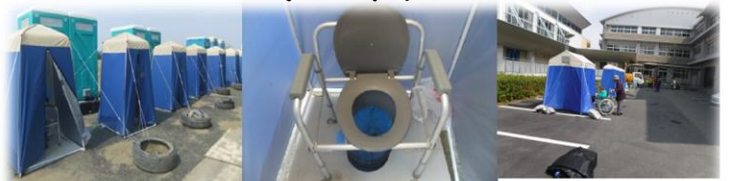


スピーカー市内に89箇所

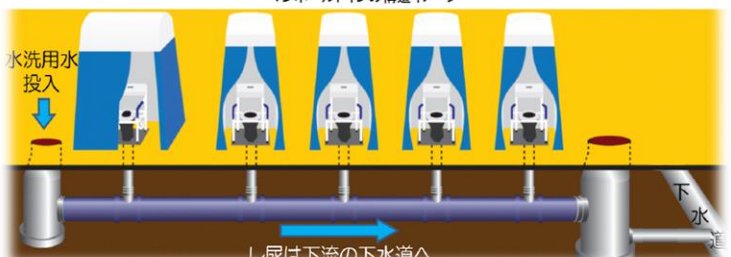


老上小・玉川小・草津第二小・笠縫小・弾正公園

マンホールトイレ



マンホールトイレの構造イメージ



たいしんせいいんりょうすいけんようぼうかすいそう
耐震性飲料水兼用防火水槽 (60+)

「飲料水、食料などの防災用品は、各家庭で3日分、できれば1週間分備蓄しましょう」